

文章検

2020年度

漢検 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 [不許複製]
文章読解・作成能力検定 準2級D 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

第1問 [30点]

- | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 1 ア | 2 ウ | 3 ア | 4 ア | 5 ウ |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|

第2問 [30点]

- | | | | |
|----|-----|-----|-----|
| 問2 | 1 ア | 2 エ | 3 イ |
|----|-----|-----|-----|

第3問 [30点]

- | | |
|----|---|
| 問1 | イ |
| 問2 | エ |
| 問3 | イ |

第4問 [40点]

- | | |
|----|-----------------|
| 問1 | 1 進 → 効 |
| 問2 | 2 なさいます → いたします |
| 問3 | 3 おじ様 |

問2

解答例

気に入つて使っていたのですが、先日、そのカップを割つてしましました。それで、同じものをもう一度買いたいのですが、店の名前がわかりません。ですので、店の名前と連絡先をお教えいただけないでしょうか。

(25字×4行)



第5問
【70点】

作成例1 「店員に相談する方がいい」立場

先日、電子レンジが壊れたため、家族で家電量販店に行つた。店内で陳列された商品を見てみたが、多くの種類があり、値段も機能もさまざままで、どれを選べばよいのか分からず、時間ばかり過ぎていった。そこで、店員に相談したところ、こちらの予算と使用頻度の高い使い方を聞いた上で、お勧めの品を提案してくれた。さらに、今まで使っていた電子レンジにはなかった機能や、その便利な使い方を丁寧に教えてくれた。おかげで、家庭全員が納得できる商品を購入することができた。

店員に相談しなければ、我が家に合った商品を買うことは難しかつただろう。このようなことをふまえると、納得できる商品を買うためには、店員に相談して決めるのがよいと言える。

店員は、商品の種類やそれぞれに備わっている機能など、扱っている品についての知識が豊富である。だから、客のニーズに合わせた品を提示できる。客の方は、店員に相談することで、多くの商品の中から、自分に合った商品を手にすることができる。結果として、満足のいく買い物となる。

他方、店員の話には専門的な用語や不要な説明が多く、店員に相談することで、客がかえつて混乱してしまうという意見もある。だが、用語などが分からなければ、質問すればよいだけのことだ。納得いくまで質問すれば混乱することはない。

(25字×24行)

作成例2 「店員に相談する必要はない」立場

私の友人に、とても帽子の似合う人がいる。私もその人にはあこがれて帽子が欲しくなり、教えてもらつた帽子専門店に行つた。初めて買うものなので、自分では選べず、店員に相談してみた。その店員は、「お客様のような顔立ちの方には丸いシルエットのものがお勧めです」「今年はつば広帽子がトレンドなので、こちらが人気です」「黒かベージュ系のものなら、どんな服にも合わせやすいでいいですよ」といながら、次々と商品を出してくる。そして、「どうぞ、お客様の好みでお決めください」と言う。だいぶ悩んだ末に、一つ選んで買って帰ってきたが、正直なところ自分に似合っていない。自信がなく、これをかぶつて出かける気になれない。私の買い物は失敗だったと言わざるを得ない。納得できる商品を買うためには、店員に相談する必要はない。

店員に相談したとしても、自分の買うものを決めるための適切なアドバイスがもらえるとは限らない。店員は客の姿や商品知識に基づいたさまざまなアドバイスをするが、客の好みまで完ぺきに把握することは難しい。店員の言ふことを聞いても、客は納得できる商品を買うことができない。

店員とは商品を扱うプロであり、商品知識が豊富だから、店員に相談すると納得のいく商品が買えるという考え方もある。しかし、商品知識の豊富さと言う点では、インターネットや雑誌の情報の方がまさつているのが現状だ。つまり、商品知識を求めて店員に頼らなくてもよいので、買い物の際に相談する必要はない。

(25字×26行)

D C B A

記述問題の採点チェックポイント

第4問 問2 (25点)

チェックポイント	配点
(1) 3文の順序・つなぎの言葉が適切であるか	8
(2) メモの内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	12
(3) 誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (70点)

作成例にある記号の意味

A: 事実 B: 意見 C: 理由 D: 異なる意見とそれに対する反論

チェックポイント	配点
構成：事実・意見・理由・異なる意見とそれに対する反論の4段落になっており、段落の関係は論理的であるか	20
第1段落：事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落：自分の意見が、はっきりと示されているか	5
第3段落：意見に納得できるように、理由が説明されているか	10
第4段落：異なる意見は反対の立場のもので、それを否定する反論が述べられているか	5
表記：誤字脱字などのミスがないか	10
表現：語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

*行数不足、行数超過は採点対象外(0点)です。
実際の採点では部分点等を規定しております。